

令和5年度第8回総合交流施設建設を更に推進する会 議事録

日時：令和6年3月25日（月）19：00～

場所：役場2階会議室

1 開 会

2 議 事

- (1) 地質調査の結果について
- (2) 規模や運営について
- (3) 町長への報告について
- (4) 来年度の「推進する会」について
- (5) その他

○事務局

皆様、こんばんは。本日は、お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。予定していた時間になりましたので、第8回「和泊町総合交流施設建設を更に推進する会」を始めさせていただきます。

本協議会は1人遅れておりますが、定員数9名全員が参加です。
では、早速ですが古村会長のあいさつと進行までお願いします。

(会長あいさつ)

地質調査について

○事務局

地質調査につきましては、18mから28mを掘りまして、支持地盤の確認ができました。予定より、深かったため、地質調査費が増えて補正しました。

その間で、一部私有地がありましたが、売買契約を行い、支払い手続きを行いました。行政は、畑を買えないとのことで、農地転用申請を行い、宅地に変更後購入する流れだったので、その手続きに時間を要してしまい、年度末の購入となりました。

地質調査費については、当初7,625,000円で契約しましたが思いの外、支持地盤まで深かったので、5,154,143円増の12,799,143円となりました。

その為、建設費も増額になると思います。業者に聞いたところ、2、3千万は増額となる予定です。

議会からは、「地盤が弱いから、グラウンドに建てた方が良い」と言われましたが、グラウンドが地盤が強固というのは、掘ってみないと分かりませんし、以前から協議していましたように、総合運動公園として将来のビジョンを考えた場合、大きなグラウンドは残した方が良いでしょうし、防災の観点からも、防災ヘリの離発着にも使えるグラウンドは必要だと思いますので、今の場所で支持地盤が確認できたということで、そこに建てたいことは議会でも答弁してきました。

○委員 28mは相当深いと思うよ。建設費ももっと掛かるんじゃない。

○会長 予算がオーバーしたっていうのは、何かしらミスがあったってことですか？

○事務局

違います。当初 10m くらいで支持地盤が出てくると予想して設計書等を作ってたんですが、単純に支持地盤までが深かったってことで、掘っていくポールの本数が増えたってことです。

○委員

グラウンドの空洞は、野球グラウンド側ですよ。芝グラウンドは、大丈夫じゃないの。

○事務局

芝グラウンド側は、山から水が流れてきておりまして、グラウンドを縦断して野球グラウンドの体育館側からゆうゆう市の裏の方に流れているのが確認されております。

○委員

当初の計画通り 2 年前にやっていたら、この額出すのであれば校舎東側とグラウンドと 2 か所出来たんじゃない？

防災まで考えるのであれば、18m から 28m は深すぎるんじゃないかと思います。

規模・運営について

○事務局

規模や運営についてですが、以前メインフロアにバレーコート 3 面、サブフロアにバレーコート 1 面ってことで、協議を進めておりましたが、説明会をして、人口減のこと、出生児の

減少などから、メインフロア2面の話も上がって来ました。

そこで、先日熊本に議会の総務文教委員と局長と推進する会を代表して川添さんが、視察に行っておりますので、その報告聞いて、再度、検討していこうと思います。

○事務局

お手元の青い資料ですが、表面には道路側からの体育館全体の写真が載っております。裏面には、サブアリーナとメインアリーナの写真が載っておりますが、裏面の右下には、見取り図が載っておりますが、メインアリーナが1600㎡ほどありまして、サブが600㎡ほどあります。

バレーコート3面と1面の4面取れる体育館となっております。それ以外にも、多目的室や大会議室や小会議室がありました。

ここはトイレもかなり広くとっておりまして、防災設備として様々な設備が取り入れられておりました。

見取り図の左側に防災倉庫がありますが、そこには、かなりの量の非常食や水が保管されておりました。

見取り図の上の方には、器具庫がありまして、体育館で使うシートや可動式のバスケットゴールなども整備されておりました。

菊陽町総合体育館とありますが、この周りには、公園になっておりまして、防災施設の機能も備えつつ、災害時の救援物資を運ぶヘリコプターなどの離着陸ができるよう震災を想定したかなり広い敷地となっております。

体育館内には、職員が10名ほど常駐しておりまして、スタジオやトレーニングルームとかは、業者に委託しているそうです。

防災機能としての総合体育館でありまして、メインフロアには一時避難として850名ほど避難でき、長期で約600名が避難できるとのことです。

また、サブアリーナには、一時避難で324名、長期で218名の利用が可能で、メインの3分の1程度の人が避難できるそうです。

あと、ここが変わっているのは、マンホールトイレというのがありまして11カ所整備されております。他にも、炊き出しができる釜土の付いたベンチが2つ整備されておりました。

ここは、社会資本整備総合交付金の防災・安全交付金という国交省の交付金を活用しております。

総事業費は、約50億になりまして工事費は39億です。社会資本整備総合交付金は2分の1の補助率なので、その半分为町の借金(起債)となります。起債が21億、一般財源が5億2千万ほどになっております。

次に西原村の総合体育館ですが、運動公園整備事業費で32億ありまして、その内総合体育館の新築工事費が約20億でありまして、先ほどと同じ社会資本整備総合交付金を使いまして、

半分の 10 億が借金（地方債）となっております。

資料の上の方に運動公園整備事業とありますが，総合体育館以外の公園や遊具などの工事で，間もなく完成すると聞いております。

体育館の主な施設ですが，アリーナはメインの 1 つありましてサブがありません。広さが 1,541 m²，2 階に 190m のランニングコースが設置されております。

西原村は，武道の剣道が盛んな村だと聞いております。他にも会議室やトレーニングルーム，多目的室が整備されておりまして，こちらもトレーニングルームは，民間委託しているそうです。

こちらも熊本の震災後に建てられた施設でありますので，防災機能が充実しております。アリーナを避難所として利用するため空調を整備しております。

他にも非常用の飲料水として，耐震性の貯水槽に 40 トン真空状態にして貯水していて 4 年に 1 回交換することとしているそうです。

また断水時に備え，トイレは地下水を利用しているそうで後ろに阿蘇山があるので水は豊富にあるようです。

当然ながら，非常用の発電機や防災備蓄倉庫も整備されておりまして，資料の写真が備蓄倉庫となっております。

（資料の）その下には体育館の管理状況が記載されておりますが，利用人数が約 3 万 6 千人程で月に約 3 千人，1 日平均 117 人となっております。利用者もだんだん増えてきているようです。

利用料の収入についてですが村内在が 210 万，村外在が 140 万円で合計で 360 万円ほどの収入となっております。

経費としましては人件費，これは会計年度任用職員を 6 名雇っておりますので，これが 410 万円，光熱水費が 720 万円でほぼ電気代となっております。

トレーニングルームは委託しておりますので委託料として 1,700 万円掛かっておりまして，経常的経費は合計で 3,460 万円程掛かっております。

これが西原村の概要となっております。菊陽町は，台湾の半導体の業者が来ておりまして，お金がたくさん落ちてくる事態でありまして，税収も増えてくるところでありますので，かなり大きな敷地の中に造られております。

西原村につきましても，以前震災があった時に避難所として仮設住宅を設置したところに，体育館を新しく建設したようです。

今回，議会の総務文教委員会の議員と一緒に行ってまいりましたが，防災機能を兼ね備えられた施設ということで，熊本の施設を見てきたところでございます。主な説明は以上になります。

○会長 川添さんどうですか。

○委員

規模に関してと金額は局長からありましたので省きますが、私が感じたことは菊陽町は、人口が4万人ほどいるので規模が違うなと思いますが電気代がかなり掛かるということで、太陽光はやはり考えているということでした。

この広さで、災害の時は800人程収容を予定しているということで、和泊町も何かあった時には800人程収容するのであれば、これぐらいの規模は必要なのかなと思いました。

震災があったので、危機意識が全然我々とは違うと感じました。私たちも体育館がメインですけど、防災のことも考えないといけないと思います。

先日の説明会の時でも、統合の話も出てきたんだから、今まで体育館建設のことだけ考えてたんだけど、それだけではダメでしょ。

これから、どんどん物価は上がっていくから、削らないといけないところ削って、必要なものは何かをみんなで考えていくべきじゃないかなと思います。

菊陽の方は、平成19年から話し始めて、10年以上経っている、途中震災もあったんですが、単年で50億ぐらいの建物を建てようと思ったら考え方が足りないと思う。

行政って、どうしても単年単年で考えるから、話は進まないと思う。

ほんとに長期的に練って話し合って、「どうせ造るんであれば・・・」って皆さん言うんですけど、周りからは、あまり良い話は聞かないんですよ。「ちゃんと話し合ってるの?」とか言われて悔しい思いをしました。

単年ではなく、4、5年のつもりでメンバー集めて話し合ってほしいなと思いました。

○会長

ありがとうございます。視察の件についての質疑等は無いですか。

菊陽の方は稼働してるんですか。

○事務局

令和5年10月からしてます。完成したのは、4月ぐらいですが供用開始は10月からです。やはり完成してから供用を開始するまでに、備品の整備や音響等の準備があるので、完成してからすぐ供用開始とはならないです。

建設と同時進行で中の準備、備品の整備も進めていかなければならないと思いますが、この市町村も、完成してすぐ供用開始とはならず、3カ月から半年しっかり準備してから供用開始となっているようです。

○会長

防災的な部分では、補助金取りでは、こういったものが大きくなっていくのかなと思ったのと西原の方のランニングコストを見ましても、収入が400万円あったとしても、シミュ

レーションした時に 3,000 万円近く乗っかってくると思うとぞっとする部分があるので、その内容をきちんとすり合わせてやっていくべきなのかなと改めて思いました。

早々に建てるのは、無理なので、運営も含めてしっかり議論していかないとないと思いました。

○事務局

菊陽の建設の経緯を申し上げますと平成 19 年 12 月に「菊陽町総合体育館建設に関する請願」を採択したとありまして、それから平成 26 年 3 月に「菊陽町総合スポーツ施設整備基本構想」を策定しております。

平成 28 年に熊本地震がありましたので中断しておりまして、平成 30 年 12 月に「菊陽町総合体育館等施設整備検討委員会」を設置しております。

その後、令和元年 5 月に検討委員会「建設場所について」答申がありまして、6 月には、「菊陽町防災施設整備に関する計画」を策定しております。

8 月には、検討委員会から「施設の規模、設備内容及び機能について」答申がありまして、「菊陽町総合スポーツ施設整備基本計画」策定されております。

年が明けて令和 2 年 1 月には、公園拡張整備及び総合体育館の基本設計完了しております。ここは都市公園区域内ということで、和泊町で言いますとタラソから笠石公園、上は和の手前ヤーシチ公園までが都市公園として指定されておりまして、その管内でありましたら、社会資本整備総合交付金を活用できますので、財源が抑えられる有難い交付金なんです。城ヶ丘中学校周辺は都市計画区域外となっておりますので、この交付金は使えないところが、残念なところではありますので、ちょっと知恵を絞って、うちがどんな交付金を使えるのか調べているところです。

続きまして、令和 2 年 3 月に菊陽町では、国土強靱化地域計画が作成されまして、緊急かつ重点的な取組として位置付けられております。

そして用地取得、令和 3 年 3 月には、「公園拡張整備及び総合体育館の実施設設計」が完了しております。

工事の着工が令和 3 年 6 月で、令和 5 年 4 月に工事が竣工しておりまして、10 月から供用開始となっております。

まだ、テニスコートを 4 面整備する予定にしております。令和 7 年の 3 月に完成予定にしております。

ですので体育館だけでなく、周辺の公園の整備も含めたかなり長いスパンでの計画となっております。西原もそうですが、共通したところだなあと思っているところです。先ほどから言われておりますように、防災機能をどのようにして組み入れていくのか、今後検討していく必要があると思っておりますが、震災はいつ起こるか判らないので、協議だけでなくお金の都合が付くのであれば早期に動くべきではないかと、町長も議会で起債残高 70 億を切った段階

で、工事に移れるんじゃないかとおっしゃっておりますので、今 80 億まで減ってきておりますので、令和 7 年か 8 年頃には工事ができるようにはなっていくのかなあと見込んでいますところでは。

菊陽町は、50 億を超えておりますので規模が違います。西原村が、人工的にも 6,800 人程ですので、同じぐらいの規模ですが、ただあそこは今後人口も 12,000 人程に増えると言われておりまして、それは台湾の企業の事業関係で、今バブル状況になっておりまして、地価も高騰しているそうで、熊本空港までのアクセスが良いということもあって、ベッドタウンになってくると言われております。

「東京まで 90 分で行ける」をうたい文句としていて、立地条件が非常に良いというところが、和泊町と違うところかなあとと思います。

防災機能として、メインアリーナは 2 面だけですが、防災備蓄倉庫も整備されております。

○委員

震災があって使いやすい事業もいっぱいあって、それを活用して、台湾企業のお陰で、税金も見込めるから、広々と造れてるのでちょっと我々とは違うかなとも思います。

○会長

規模は A 案、B 案出てきてるんで、あとはどういった補助金を使えるのかをここ数年で進めていく方が良いと思いますので、あとは先ほども言ったんですけども運営も考えて、よそが出来ていないことを出来るような組織にしてやり切ったら、すごく注目されるので、それで人を呼ぶっていうのも全然有りなので、そんな運営法を考えながら進めていけたらと思います。

○委員

運営ってことですが、収入の 10 倍の経費が掛かるってところで、利用率を上げるための方策と経費をなるべく掛からなくするところを検討していかないと立場的にかなり難しくなるのかなと思います。

町長への報告について

○会長 3 番に移っていきます。事務局からお願いします。

○事務局

今まで協議してきた中で、ここまで決まりまして今後こう言ったところを協議していきま

すみたいなものを報告しなければと思うんですけども。

○会長

この骨子を、今までの議事録を基に作って答申する前に皆さんに確認してもらって、それを4月にするか、5月にするか、そのスケジュールが判ると、それを見た上で、次年度をどうするかの話になってくると思いますが・・・。

○事務局

一応、任期が3月までとなっておりますので、骨子案を今週中にまとめて、それを皆様にお配りして、書面決議しないといけないと思います。

年度をまたいでしまうと答申にならないと思うので、今いるメンバーでやらないといけなくて、年度をまたいでしまうと新しいメンバーがいたりして更に次をやらないといけないので、書面決議の了承を得て、町長へ報告したいと思います。

答申というか具申になると思います。

来年度の推進する会について

○事務局

基本的には、皆さんに継続して協議していただきたいんですが仕事の都合上、継続が難しい方もいらっしゃると思いますので、その際はその方の穴埋めをしていかなければなりませんが、御意見を伺いたいと思います。

○会長

1年間やってみて、感想だったり、提言だったりを話していただいて、来年度についても、継続してやりたいとか、退きたいとかを話していただけた方が事務局としても助かると思いますので、新納さんからお願いします。

○委員

私自身は抜けれたらと思いますが、推薦したい人がいますので、声かけても良いですか。

○事務局 お願いします。

○会長 感想の方もお願いします。

○委員

町のいろんな仕組みを聞けて、良い機会だったなと思います。具体的な数字的なことも聞けたんですが、不安要素が大きくて、自分的には良い案が思いつかなかったんですけど、良い策が出て、良いものが造れたら良いなと思います。

ありがとうございました。

○委員

今年度は、自分の仕事とかもあって、あまり参加できなかったんですけど、来年どうしようかなとも思ってたんですけども、もっとスピード感をもって、会自体も月に1回、2カ月に1回とかではなく、月に2回ぐらいやってほしいですし、あと20代が私だけなので、もっと若い人がいてくれて意見交換出来たら、来年も参加したいと思います。

○委員

町保有の体育館が無いってところで、すごく不便に感じていて、そういう施設があることで、皆さんがもっとスポーツに関わる環境が良くなるのかなと常々感じていたんですけども、運営費のこととかを目の当たりにすると、もっと中身を詰めていく必要があるのかなと感じました。

来年度ですけど、自分の肩書が元気！わどまりクラブの代表として、入っているので、自分としては勉強になるので継続したいとは思っておりますが、元気！わどまりのスタッフと入れ替えるかは、皆さんに考えていただければと思います。

○委員

1年間やってきましたが、本当に必要なのかと考える部分もありましたけども、震災とかを考えて熊本とかの話を聞きますと、こういう防災施設も必要なのかなと思うところでした。これが実際どれだけの被災者を受け入れることが出来て、建物として活用されるのかなってところが疑問ですけども、来年も継続させていただけるのであれば、スポーツ推進委員という立場ではありますが、今後も勉強させていただければと思います。

○委員

1年間、欠席が多くてすみませんでした。(物価が上がり続けている中)早く建てた方が、建設費とか楽なのもいろんな方からも聞いてはいたんですけども、いろいろ事例を調べたり、補助金調べたりする中で、建てるだけじゃなく、維持していくのにもこんなに掛かるんだと感じたところでした。

他のところを見ても思った以上にじっくり議論しているようですので、私たちも議員さんにも参加してもらいながら、じっくり議論していく必要があると思います。次年度ですが、な

かなか参加できなかったもので、参加できる方をお願いしたいなと思う反面、新しく入った方にまた始めから説明するのも、その方も負担になると思いますが事務局も大変でしょうから、進退についてはお任せします。

ありがとうございます。

○委員

私は熱くなるので、上の方がいたら抑えてくれたりもするんですけど、町に体育館がないというデメリットを良く考えます。

町民はスポーツをする権利はあるんですけど、平日スポーツしたくてもできない状況の中で、町に考えてほしいのは、スポーツを通じて町にお金を落とすことも1つなんですよ。

早くその方法を実施できるようにしてほしいし、そのためにも、いろんな仕事をしながらでは、なかなか進まないのでも専門部署とまでは言わないですけど総合交流施設を重点における人材を置いて欲しいなと思います。

他の仕事をしながらでは、この建設業務は難しいと思うので、町長には、専門員の配置をお願いしたいです。

ありがとうございました。

○委員

年度当初、この事業を始めるにあたって、知名町からは私だけかとおもいつつ参加させていただきました。

すごく良いプロジェクトと思いますので、来年度も参加させていただきたいと思います。ランニングコストが上手く回る規模間っていうのが凄く大事なのかなと思っていて、経費と収入をもっと上手くペイできる方法の議論が出来るんじゃないかなと思っております。

○委員

総合交流施設建設推進協議会から7年が経ちました。凄くやりがいのある事業だなと思っております。

今回のメンバーとは1年しかやっておりませんが、もっと多くの方を入れた組織づくりが大事なのかなと思います。

人数が少ないと、内容の方も十分な議論ができないんじゃないかと思いますが、事務局の中でも、他の業務を持ちながらやっておりますので、選任できるなら、もっと議論が出来ていくのかなと思います。

子ども子育て会議の肩書は外れますが、来年度も継続させていただければ、肩書を変えて参加させていただければと思います。

○会長

先ほどからありますように、町田さんが今度変わられるってことですが、教育委員会の業務の中で、イベントをしながら、この会の準備をしようと、月に何回かしていきたいと思いますけど、議事録一つとっても、なかなか大変なので、プロジェクトチームも含めた、統括できる責任者みたいな人がいて、ここと連動して進んでいける形が来年度取れると、もっと良いのかなと思います。

さっき、もっと若い子がいたらって意見がありましたが僕は、もっとマネジメントが来て、お金の流れが判る人じゃないと、話が行き来してしまうので、そういった人材とプロジェクトチームの両輪で、回していけたら一番理想的だなと思っております。

皆さん1年間ありがとうございました。というのと次年度、また完成に向けて新しいスタートを切れますようによろしくお願いします。

そして、委員を外れた皆さんもいつまでも興味を持ってもらって、完成に向けて議論が進められていることを周知してくださるようお願いしまして終わりたいと思います。

ありがとうございました。お疲れ様でした。

3 閉 会

— 以 上 —